

富士宮市 子育て応援ヘルパー 4月から派遣事業始める

富士宮市は、4月から「子育て応援ヘルパー派遣事業」を始め、家事や育児が困難な人を支援するため、市が契約した委託事業所からヘルパーなどを派遣する。

近年の核家族化や新型コロナウイルス禍により「出産育児期に家族の支援を受けることができない」「里帰りできない」「育児不安や育児困難を抱える家族が増えていることから企画した。対象は同市に住民票があり、妊娠中または生後1歳未満の赤ちゃんがいる家庭。サービス提供内容は▽家事：調理、洗濯、掃除、日



用品の買い物など▽育児：授乳、沐浴(もくよく)、おむつ交換など。利用できるのは1日1回、平日の午前9時～午後5時の2時間以内。利用回数は最大50時間。利用料金は1時は家族だけで解決する

間当たり10000円、市民税非課税世帯や児童扶養手当受給者は5000円、生活保護受給世帯は無料。希望者は、保健センターに電話で申し込むか、市公式ウェブサイトに電子申請する。市では「家族の問題は家族だけで解決する

のではなく、難しいときには家族以外の支援を受けてもいい、頼ってもらいたいという発想の転換と、社会全体で子育て世帯を応援する仕組みづくりを目指す」としている。

サービス提供事業所はかやの里(ひばりが丘)夢コープ富士宮事業所(若宮町)市シ

asobigokoro(富士市五貫島)。

31日から影山工務織り物展 RYUGYARARI

富士宮市万野原新田のRYUGYARARIで31日(水)～4月11日(日)、手織りの影山工

初の名物グランプリ決定

富士宮市の市民有志が初開催した「富士山名物グランプリ」環富士山食の共演で、市内大鹿窪のFARMEN(T「フジヤマハンターズビル」)が製造販売する「富士山麓ヒノキのビール(ヒノキ)」がグランプリの盾を手にする深澤代表

がグランプリに輝いた。主催は実行委員会(富士宮ワイズメンズクラブ、異業種交流団体、翔友会、やさしいまちづくりの会、くぐり、ラブふじのみやの会、市が後援した。富士山に育まれた食の名物を「富士山ブランド」として世界に発信するために企画し、富士山の周辺地域が連携し、ネットワークを構築することで、新たな富士山文化圏の発展を目指している。

集まった名物は富士宮市をはじめ、御殿場市や静岡市からの17点。各応募事業者が作成した紹介動画(1分間以内)をSNSで公開し、視聴者の投票によって各賞を決めた。

グランプリに続いて、金賞は「富士山麓熟成肉ドライエイジングビーフ」(さの馬)、「ま深澤道男代表に賞状と

芋(ふもとも農園)、「天日蜜芋」(杉田農園)、銀賞は「清酒・富士山」(牧野酒造)、「富士山やきそば(井)」「鉄板焼ちゃん」(特別賞は「富士山と共に富士宮やきそば等」(ダヤンテール)。

表彰式は、実行委員が各事業所を訪問しての分散方式とし、グランプリの表彰はフジヤマハンターズビル浅間大社タップルーム(宮町)で行われ、稲葉美津恵実行委員長が深澤道男代表に賞状として授けられた。

稲葉委員長は「初回ながらも多くの応募があり、クオリティの高い動画に感激した。今後も毎年開催し、環富士山の食文化を世界に発信していきたい」と語った。第2回は11月に募集を開始する予定。初回の入賞動画を公式ウェブサイトで紹介しており、「多くの人に知ってもらい、次回の応募につながりたい」としている。

音楽の魅力を感じ 支援が広がる活動進展

富士宮高校音楽会が、このほど、定例会を西町レトロ館(西町商店街)で開いた。十数人の会員が集まり、富士山の麓で活動するシンガロングライターの土橋悠宇さんとの交流を通じ、音楽の魅力を感じた。市の魚沼ジマスのPRソング制作主催の「宮フォトコンテスト」の写真を使用した絵が作成された。継続事業も進展した。土橋さんとの交流は、

えくれた。演奏もあり、感動のひとつだった。今後も土橋さんと交流を続け、音楽を通じて富士宮をさらに元気にさせたい」などの声が聞かれた。

ニジマスのPRソングは、1月の「富士宮を元気にするビジネスモデルのワークショップ」の中で会員が提案した。実現を目指す中で、親交のある妹尾良

華さん(音楽教室を主宰)が「音頭! マスマス元気になれ」を試作した。

妹尾さんから曲が披露され、歌の指導を受けた。今後は曲を煮詰めるとともに、振り付けを考え、発表の場を設けることにした。

宮フォトコンテストについては「優れた応募作品を絵はがきにして、富士宮の活性化につなげたい」と考えていたところ、富士宮ライオンズクラブの協力が得られた。来館した同クラブの望月達也会長から助成金が贈られた。交流の場も設けて、今後の展開へのアドバイスを受けた。

そのほか、新開発した商品の試食を交えて、新年度の活動内容を検討した。紙ストローの普及やクラウドファンディングの活用、富士特別支援学校富士宮分校との連携など、さまざまな取り組みについて話し合った。

富士宮高校音楽会が、このほど、定例会を西町レトロ館(西町商店街)で開いた。十数人の会員が集まり、富士山の麓で活動するシンガロングライターの土橋悠宇さんとの交流を通じ、音楽の魅力を感じた。市の魚沼ジマスのPRソング制作主催の「宮フォトコンテスト」の写真を使用した絵が作成された。継続事業も進展した。土橋さんとの交流は、

えくれた。演奏もあり、感動のひとつだった。今後も土橋さんと交流を続け、音楽を通じて富士宮をさらに元気にさせたい」などの声が聞かれた。

ニジマスのPRソングは、1月の「富士宮を元気にするビジネスモデルのワークショップ」の中で会員が提案した。実現を目指す中で、親交のある妹尾良

華さん(音楽教室を主宰)が「音頭! マスマス元気になれ」を試作した。

妹尾さんから曲が披露され、歌の指導を受けた。今後は曲を煮詰めるとともに、振り付けを考え、発表の場を設けることにした。

宮フォトコンテストについては「優れた応募作品を絵はがきにして、富士宮の活性化につなげたい」と考えていたところ、富士宮ライオンズクラブの協力が得られた。来館した同クラブの望月達也会長から助成金が贈られた。交流の場も設けて、今後の展開へのアドバイスを受けた。

そのほか、新開発した商品の試食を交えて、新年度の活動内容を検討した。紙ストローの普及やクラウドファンディングの活用、富士特別支援学校富士宮分校との連携など、さまざまな取り組みについて話し合った。

そのほか、新開発した商品の試食を交えて、新年度の活動内容を検討した。紙ストローの普及やクラウドファンディングの活用、富士特別支援学校富士宮分校との連携など、さまざまな取り組みについて話し合った。

★富士・富士宮のポータルアプリ
まめふじ
イベント*お店*インスタ*facebook

最新ニュースをスマホに配信!!
ダウンロードはこちら
掲載無料

業務拡張のため
現場スタッフ募集中!

遠藤建設株式会社
富士市蓼原54番地の7
TEL 0545-61-5133
詳細はホームページをチェック
http://endo-kensetu.co.jp

祝 新入園 新入学
春の安全祈願祭
3月28日(日) 朝9時30分集合
幼稚園児・小学生・中学生の
通学安全を願って

鈴川 運 毘沙門天
TEL 3210-114 (九時半~四時)

右記の日時、「無料祈祷」を行います。
「ご兄弟・ご姉妹も」ご一緒にどうぞ。
「ご希望の方は」お電話のご予約をお願いいたします。

さくらが丘 クリニック
●循環器内科 ●呼吸器内科 ●内科
TEL. 36-2866
新型コロナウイルス対策のため
必ず電話連絡の上ご来院ください。
休診/木・土曜午後、日曜、祝日
富士市中野527-27(八ヶ窪バス停前)
URL: www.sakuragaokaclinic-fuji.com